

江川

せせらぎ

緑道

江川せせらぎ緑道

四季折々の花を眺めながら散策が楽しめる江川せせらぎ緑道。
都筑水再生センターの下水処理水を利用した清らかな水流が街に潤いを与え、
また、大雨の際には浸水を防ぐ役目を果たします。

歴史

都市化の中で荒廃、「江川せせらぎ緑道」として再生

江川が流れる都筑区南部の低地には、かつて一面の水田が広がっていました。江川は、そうした水田に水を供給する農業用水路として利用されてきました。しかし、昭和30年代以降、周辺の都市化が進み農地が減少すると、次第に生活排水が流れ込んで水質が悪化したり、ごみが捨てられたりするなどして荒廃が進みました。

一方で、地域の方の江川への愛着は強く、ごみの回収などが続けられました。江川せせらぎ緑道のシンボルともいえる桜並木は、昭和60年代に、地域の方の呼びかけで植樹されたもので、約200本にもなります。

その後、水量の減少などもあり一時は埋め立ても検討されましたが、平成7年に下水道管の整備に合わせて「江川せせらぎ緑道」として水辺空間を活かした整備がされました。

江川の水



都筑水再生センター

「水源」 都筑水再生センター

江川せせらぎ緑道の水は、都筑水再生センターで処理された水です。都筑水再生センターは鶴見川と鶴見川の支流である恩田川との合流点近くに位置し、都筑区の佐江戸・川和地区、青葉区・緑区・旭区の一部の下水を処理しています。

通常の下水道処理水でも鶴見川へ放流することが可能な水質ですが、さらに高度な処理を行って、放流しています。小魚やトンボの姿も見られる高い水質が自慢です。



増水時の川向付近の状況

江川から鶴見川へ

江川せせらぎ緑道を下流へ辿っていくと、やがて鶴見川へ合流します。合流点には大きな水門があり、豪雨の際には浸水の発生を防ぐため、水門を閉めて江川せせらぎ緑道に水を貯めます。



愛護会

季節によって様々な風景を楽しませてくれる江川せせらぎ緑道は、「佐江戸せせらぎ水辺愛護会」、「都田江川水辺愛護会」等、地域の方々の協力のもと、美しく保たれています。



江川せせらぎ上流部（佐江戸地区） 佐江戸せせらぎ水辺愛護会

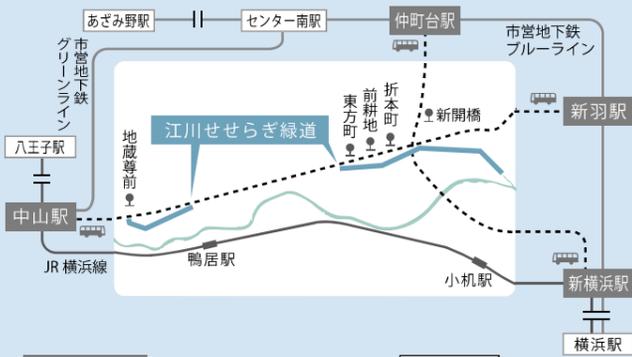
トンボやカワセミなど様々な生物が観察できる名所を目指して活動しています。



江川せせらぎ中流部（東方地区） 都田江川水辺愛護会

花いっぱいの江川を目指して、春に見られる桜のトンネルと彩り豊かなチューリップのエリアで活動しています。

アクセス



市営地下鉄 仲町台駅	市営バス 300系統 「新横浜駅」行き	新開橋	江川せせらぎ緑道	徒歩 3~5分
市営地下鉄・JR横浜線 新横浜駅	市営バス 300系統 「仲町台駅」行き 市営バス 41系統* 「中山駅北口」行き 「川向折返場」行き	折本町 前耕地 東方町		
市営地下鉄 新羽駅	市営バス41・28系統 「川向折返場」行き 「中山駅北口」行き	地蔵尊前		
市営地下鉄・JR横浜線 中山駅	市営バス41・28系統 「新横浜駅」行き 「新羽駅」行き			徒歩 約3分

※新横浜駅から乗車する場合、市営バス41系統の「鶴見駅西口」行きは停車しませんのでご注意ください。
※市営バス28系統のみ「地蔵尊前」を経由しますのでご注意ください。
※江川せせらぎ緑道に駐車場はありません。公共交通機関のご利用をお勧めします。

利用上の注意

ルールを守ってきれいに利用しましょう。

- 水の中に入らない
- ゴミを捨てない
- 花を採らない
- 大雨時は高い所へ

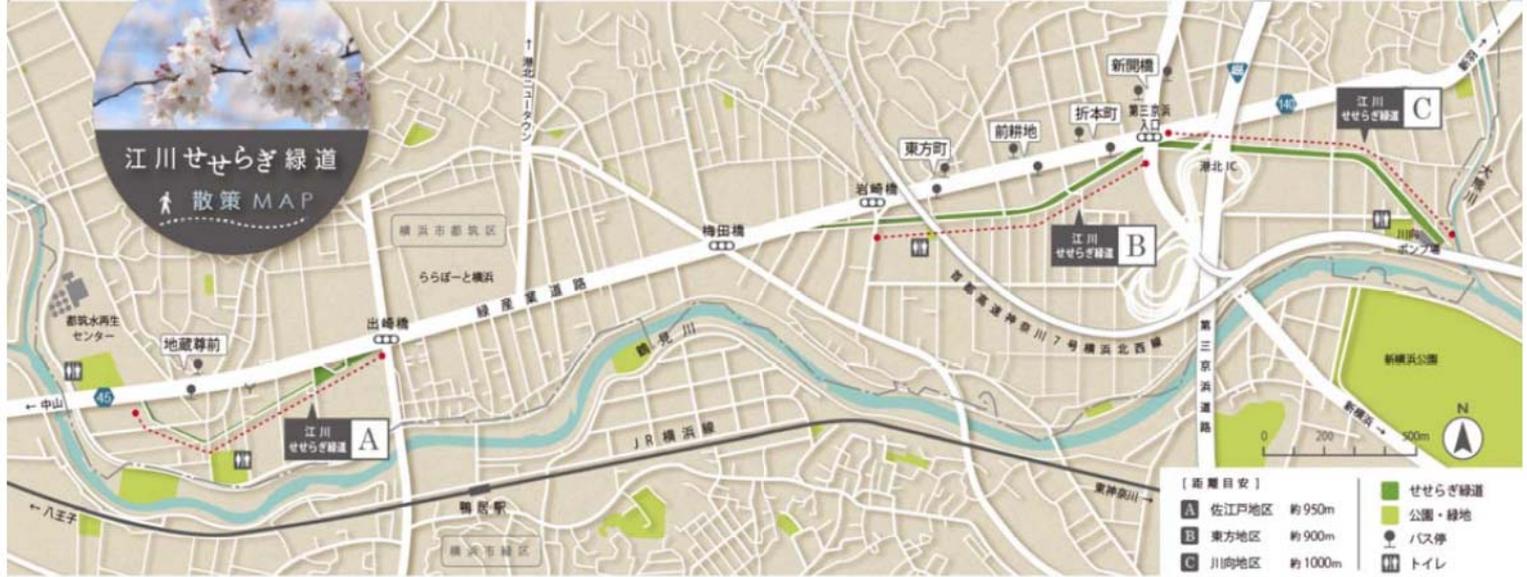
お問合せ

横浜市都筑区都筑土木事務所

〒224-0032
横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1
TEL: 045-942-0606
FAX: 045-942-0809



※令和7年3月時点の情報です。お出かけの際は最新の情報をお確かめください。
令和7年3月版



A 佐江戸地区 江川せせらぎ緑道の「源流」にあたるエリアです。

佐江戸おちあい公園

水再生センターで処理された水は、中原街道を渡ってここから地上に噴出します。鶴見川に合流するまで約4kmの旅がスタートします。

工場や住宅地の広がる地区を道路に沿って流れていきます。大きな石を用いた護岸とツツジの植栽が特徴です。

水陰で一息つくことができる園地です。愛護会の方が世話をしている花壇もあります。カワセミの姿をみかけることもあります。

B 東方地区 チューリップと桜が織りなす景観が江川を代表するエリアです。

首都高速道路の高架下には、両岸に東方第二公園があります。トイレもあり散策の拠点に最適です。

春には桜とチューリップの観賞を楽しむことができる区間です。約13,000球のチューリップは愛護会や地域の小学生、企業の方などの手で植えられています。

桜のトンネルを楽しめる区間です。初夏からは水辺に咲くサンパチェンスの花も楽しむことができます。

C 川向地区 第三京浜道路の下をくぐると、やがて鶴見川本流に合流します。

開放的な雰囲気の中で蛇行しながら流れていきます。

土手の斜面にはところどころ桜も植わっています。夏にはトンボの楽園になります。

最下流には水門があります。大雨時には水門を閉め水を貯めることで浸水被害を防ぎます。

花の見どころ

- 小橋
- 階段

川向しものや公園

※令和2年1月時点の情報は、お出かけの際は最新の情報をお確かめください。